

放射線の健康影響に関する専門家意見交換会

1 目的

東京電力福島第一原子力発電所事故により、放射性物質が広範囲に拡散し、福島県民は、健康への影響等、不安の中での生活を余儀なくされていることから、特に「日常生活」において留意すべき事項や自らの行動判断に必要な情報等を行政や専門家が適時・適切に集積し、発信を行うことが重要となる。

このため、平成 24 年度においては、県及び県内市町村のアドバイザーが一堂に会し、「『ふくしまで暮らす』ために～特に、子どもの視点で～」をテーマとして、本意見交換会を開催した。

平成 25 年度においては、これに引き続き、「『放射線と健康』～不安と向き合うために～」をテーマとして、本意見交換会を開催し、アドバイザーからの多様な意見を聴取し共有化を図るとともに、県民への情報提供にもつなげていく。

2 主催

環境省
福島県

3 参集者

福島県及び県内市町村の専門家（アドバイザー）
福島県及び県内市町村等職員

4 日時、場所及びサブテーマ

	日時・場所	サブテーマ・講師	申込み締切
第1回	平成 25 年 10 月 5 日(土) 13:30～16:30 福島県男女共生センター 研修ホール (二本松市郭内 1-196-1)	今、ふくしまで暮らす県民の“悩み” や“疑問”について ○いちかわクリニック 小児科医師 市川陽子 氏 ○田村市都路町 呑田理美子 氏	【終了】
第2回	平成 25 年 11 月 2 日(土) 13:30～16:30 郡山ユラックス熱海 大会議室 (郡山市熱海町熱海 2-148-2)	“遺伝”について ○放射線影響研究所 疫学部長 小笹晃太郎 氏 ○宮城県立こども病院 産科部長 室月 淳 氏	【終了】
第3回	平成 25 年 12 月 21 日(土) 13:30～16:30 ホテルサンルート白河 富士の間 (白河市新白河駅前)	“甲状腺”を考える ○福島県立医科大学医学部 甲状腺内分泌学講座教授 鈴木真一 氏 ○岡山大学環境生命科学研究所 人間生態学講座教授 津田敏秀 氏	12 月 13 日 (金)

※ 各回傍聴定員は、100 名程度

5 内容

県内の有識者や活動されている団体を講師として招き、毎回のサブテーマに沿った知見や事例等を講演した後、講師とアドバイザーの質疑応答及びアドバイザー間での意見交換を行う。